

堺市南区政策会議 第 1 回未来共創若者部会 意見要旨

【特別構成員からの主なご意見】

議題①：南区の魅力向上と魅力発信について

(現状の南区の魅力について)

- 南区はビッグバンなどの娯楽施設もあり、自然もたくさんあるので充実している。
- 高校行く途中に桜並木があって魅力。公園も多く、子どもが安全に遊べる。緑が多いのと公園が多いのが魅力。
- 引っ越してきて自然が多いと思った。空気がきれい。
- 以前南区に住んでいた。通学路に自然が多く、豊かで落ち着く感じだった。夕暮れの雰囲気もよかった。
- 南区は緑が多く、落ち着いた環境で生活できる場所。
- 中区に住んでいて南区の高校に通っているが、南区は緑が多い。歩道が広い。中区は道が狭く危険なので、南区は安全に歩き自転車に乗れると感じる。
- 魅力は緑・自然。光明池の公園が好きで毎年花見に行く。
- 岸和田出身。中学から南区。自然が多く静かで落ち着く印象。岸和田はだんじりで活気があるので対照的。

(南区の魅力発信について)

- Instagram を使っている人がほとんどなので、Instagram で伝えるのは大事。学校で友達にも伝えたら広がる。
- 南区公式 LINE があるならもっと活用したい。
- 南区役所の SNS 強化をしてほしい。Instagram や X は公式があるが、TikTok がない。作ってほしい。
- 若者が参加するイベント、若者向けイベントを増やすとよい。フリマ、スポーツ大会、音楽、ダンス発表など。
- 地球の文化を体験できるイベントがよい。日本の昔遊びや文化をもっと知りたい。ネットにない情報は日本人から直接聞く方が正確。昔遊びや日本文化紹介イベントをしたい。忙しい若者や外国人にとってもよい機会になる。
- 若い人は自分から情報を取りに行かず、リール等で流れてきたものを見る。南区役所の Instagram は写真中心。動きがある動画の方が関心を引きやすい。
- SNS で伝えるのに加え、影響力のある人を通じて魅力を伝えるのもよい。
- 自分たちの世代は LINE より Instagram の DM が中心。

- 世代別おすすめスポットの見せ方があるとよい。学生を巻き込んだイベントがよい。
- ステッカーは流行している。スマホに挟むので、参加特典にすると話題になる。
- 飲食店や遊ぶ場所は Instagram で探す。南区の飲食店や遊び場所を Instagram で発信するとよい。
- キャンドルナイトに参加した。他大学・区役所と協力し、企画が楽しかった。大学の友達も呼べてよかった。
- M & GREENs のロゴを広めるなら、ミミちゃんに M & GREENs の T シャツを着せる等も考えられる。

議題②-1：若者が心身ともに健やかに暮らすためには

(居場所・交流の場について)

- 公園で野球をすると落ち着く。小さい頃は図書館によく行っていた。静かな空間が落ち着く。学校の図書館も使う。
- 公園で、体を動かすと気持ちが整理できて落ち着く。ランニングがしやすい。
- 来日した時、大きな公園があって、一人でも落ち着けた。フィリピンでは公園があまりなく、一人で過ごせる場所が少ない。
- 一人で安心できる場所、飲みながらリラックスできる場所が好きでカフェに行く。
- 個人経営のカフェは交通手段が少なく行きにくい。
- 基本家から出ない。放課後一人で泉ヶ丘図書館に寄る。近くに図書館があるのはうれしい。

議題②-2：若者が心身ともに健やかに暮らすためには

(健康・長寿について)

- 健康情報はあまり見ないが、強いて言うなら野球に使うトレーニングをたまに調べる。情報源は YouTube、Instagram。
- 健康情報といわれて思い浮かばないが、ランニング情報は収集する。
- 睡眠不足が気になる。自分は 8 時間以上寝ているが、同学年で 2～6 時間の人がいて心配。授業中に寝てしまう人も増えている。
- 元気に生活するには体だけでなく心の健康も大切。勉強や人間関係、将来のことでストレスがあるので、心のケア方法に関心がある。
- 心のことなら TikTok や Instagram で見る。記事より簡潔でわかりやすい。いろいろ試して自分に合う方法を見つけるのがよい。
- 深く検索して記事を読むより、Instagram で流れてきたもので試すことが多い。
- 食品系の健康情報。添加物、着色料、塩分が低いものなどを気にして買う。
- Instagram 等で見た情報を参考にすが、完全に信じないようにして判断している。

- 健康で思い浮かんだのは、親が膝や腰が痛いと言っていること。強いて言えばスマホ依存が増えていると感じる。高校では休み時間のスマホ使用が許されていて、昼休みにゲームをしている人が多い。それは体に良くないのではと思う。
- スマホは目や頭が痛くなるので、あまり使えない。
- 部活の予定や顧問からの連絡がアプリで来る。予定表もアプリ。スマホがないと困る。

議題④：若者の防災意識について

（防災の備えについて）

- 家族と避難場所の確認はよくする。地震速報が出た時に、どこに集まるか話し合った。
- 災害時に遠くへ逃げられるよう自転車のバッテリーを常に満タンにしている。バッテリーから充電もできる。
- 登下校中に発信があった場合の行動は計画している。
- 両親は日本語が分からないため、ニュースも見ない。自分が計画して指示する。安全キットも備えている。
- ハザードマップを確認して避難所を決めた（桃山台小学校、西原公園）。
- 日本に住む外国人は地震時の行動が分からないことが多い。防災グッズだけでなく心の準備も大切。
- 登校中に災害が起きた場合、親が困らないよう“学校に近ければ学校へ”など家で話している。帰宅後に道中の想定も確認したい。
- 非常食を常に準備。避難所は近くの小中学校で、状況で選べる。ハザードマップも見ている。
- 友達と防災の話はしない。
- 家では防災グッズや避難所確認はしているが、外出先での避難所は調べないことが多い。家族が別々の時の集合方法は決められていない。